

第11分科会 「質の高い読み聞かせをするために」～吉田ひまわり保育園の取り組み～

司会者 北澤 梨絵子（塩尻市立図書館）

発表者 大和 由理子（塩尻市立吉田ひまわり保育園）

I 発表の概要

配布資料に基づき実践事例発表

1 吉田ひまわり保育園の絵本の取り組みについて（50分）

① 絵本をテーマにした研究（福音館こどものとも研究会の絵本講演会） ② 100冊を超えた保育士が選んだ絵本や保育士同士の読み聞かせ ③ 季節や作家、テーマに合わせての展示 ④ 絵本のエピソードを知る『はじめてのおつかい』 ⑤ 絵本を集中して見られない子への配慮 ⑥ 保育士が絵本を知り、保育活動に生かす課題 ⑦ 保護者に読み聞かせしたい本『おこだてませんように』

・昨年度から絵本をテーマに研究を行っている。福音館の講師を呼び、本のエピソードや作者の思いがわかり、より内容や身近なものとして愛情をもって絵本を紹介できた。その後、保育士同士での読み聞かせをおこなった。

・未満児向け絵本『れいぞうこ』紹介。3歳未満児は、手先の発達が未熟なので1ページの紙が厚いと次のページが浮き上がってくることで、ページをめくりやすくしている。

・保育士同士で読み聞かせを行う中で、保育士が好きな本から、季節感や子どもたちの成長・興味を持つものに変わっていき、目的を持って絵本を選ぶようになった。年齢ごとに子どもに合った内容や環境を見ていくことが大事となる。保護者へのアピールをする。

II グループ討議の概要

3グループに分かれて、読み聞かせ活動について意見交換

① 発表を聞いての感想

- ・絵を見ることの大切さがわかった。大人はいつもは伝える側だけれど、聞く機会は大切だと感じた。
- ・職員同士で絵本を読み合うことで、新たな発見がある。
- ・園での読み聞かせ用に、本のリスト化をしているのは良いことだと思う。
- ・本の内容を理解できないと集中できないので、個別に読み聞かせや環境を整える工夫をする。

② 各団体・保育園などでの読み聞かせ活動についての情報交換

- ・保護者にも、読み聞かせで読んだ本を知っていただくために廊下やテラス展示をしている。
- ・司書のおすすめの本や、図書館の保育園向け読み聞かせセットを活用している。

③ 今後の読書活動の方策

- ・自分の好みのものでなくまんべんなくいろんな絵本を見て、子どもたちに愛情をもって工夫して伝えたい。
- ・図書館を活用して、様々な本を知り紹介していきたい。

III まとめ

スマートフォンやiPadなどが普及していく中で、絵本が重要な役割を持つ。絵本研究の実践報告から、いつもと違った視点から絵本を見ることができた。本を知り工夫しながら伝えることで、子どもたちに本が伝わり、保護者も含め日々の読書活動に繋がっていく。参加者は、保育園や読み聞かせ活動者、学校司書、公共図書館など様々な立場で工夫し選書に悩みながらも質の高い読み聞かせを目指していることがわかった。